



シスコアプリ構成

- シスコアプリ構成概要 (1 ページ)
- 緊急アプリ (5 ページ)
- プッシュツートーク (PTT) app (13 ページ)
- バッテリー寿命アプリ (16 ページ)
- ボタンアプリ (18 ページ)
- バーコードアプリ (28 ページ)
- カスタム設定アプリ (49 ページ)
- 通話品質設定アプリ (68 ページ)
- 診断アプリ (75 ページ)
- Web API アプリ (76 ページ)

シスコアプリ構成概要

組織の必要に応じて、シスコアプリとその設定を構成します。シスコアプリを構成すると、次のことができます。

- エンタープライズモビリティ管理 (EMM) アプリケーションの使用 (複数の電話機に推奨)
- Cisco Wireless Phone 構成管理ツールの使用 (EMM アプリケーションが無い場合は、複数の電話機に推奨)
- 各アプリの [設定 (Settings)] メニューを直接電話機で使用 (電話機の台数が少ない場合に推奨)

エンタープライズモビリティ管理アプリケーションインターフェイス

次のシスコアプリは、Google Play ストアにあります。これらアプリは、エンタープライズモビリティ管理 (EMM) アプリケーションで構成できます。

- 緊急

- プッシュトーク (PTT)
- バッテリー寿命
- ボタン
- バーコード
- カスタム設定
- 通話品質設定
- Web API



(注) バーコード、ボタン、通話品質設定、およびカスタム設定アプリは、OEMConfig アプリです。これらのアプリを構成するには、EMMがOEMConfig拡張スキーマをサポートしている必要があります。必要であれば、EMMサポートにお問い合わせサポートを受けてください。

エンタープライズモビリティ管理アプリケーションをプログラムする

Cisco Wireless Phone 840 および 860 は、[Cisco Meraki Systems Manager](#) などのエンタープライズモビリティ管理 (EMM) アプリケーションソリューションを使用してモバイルデバイスを展開する環境向けに設計されています。EMM アプリケーションでは、デバイスをグループ化して、個別に管理できるようにすることができます。

Cisco Meraki Systems Manager を使用して電話機をグループ化する具体的な手順については、「[技術書類](#)」を参照してください。

始める前に

- ドメイン証明書を使用して EMM アプリケーションを構成します。
- 電話機を既存または新規の Android for Work アカウントにリンクして、シスコアプリを含む Google Play ストアのアプリへのアクセスを管理します。

手順

- ステップ 1** EMM アプリケーションにサインインします。
- ステップ 2** Android for Work アカウントを設定します。これにより、電話機を外部アクセスから隔離し、組織が必要とするアプリのみを提供できます。
- ステップ 3** 必要な構成領域ごとにペイロードを含む構成プロファイルを作成します。

(注) 次の最小設定を設定することをお勧めします。

- **制限事項**：カメラの使用を有効にし、アプリのインストールを許可します。
- **Android の制限**：
 - **システム設定**：Android Debug Bridge (ADB) アクセスを防止します。
 - **システム設定**：未知のソースからのアプリインストールを防止します。
 - **権限**：すべての権限を自動付与します。
- **Android システムアプリ**：Google Play ストアから EMM アプリケーションにダウンロードするシスコアプリの許可リストを指定します。
- **Android 壁紙**：必要時に画面のメッセージをロックします。
- **Wi-Fi プロファイル**：Wi-Fi 設定を構成します。

ステップ 4 Android Enterprise Owner アカウントを追加して、電話機プロファイルを管理する管理者を識別します。

(注) アカウントがローカル EMM アプリケーションアカウントではなく、Android Enterprise 所有者アカウントであることを確認してください。

ステップ 5 電話機を対応するグループに分けることができるように、識別タグを作成します。

(注) プロファイルコンソールで、グループとタグをペイロードとして設定します。[デバイス構成 (Device Configuration)] オプションを [ターゲット (Targets)] として設定します。ただし、この時点では、デバイスは特定のシリアル番号と MAC アドレスを持つ特定のモデルであることしか認識していません。登録後、より詳細にデバイスタグを割り当てることができます。目的のグループ化に応じて、特定の所有者、キーワード、またはデバイスタイプでデバイスをグループ化できます。

ステップ 6 シスコアプリのフルネーム (com.cisco.xxxx) を使用して、Google Play ストアから目的のシスコアプリをダウンロードします。

(注) アプリと設定がプロファイルコンソールにダウンロードされます。各アプリは自動的にリストに追加され、アプリの設定がペイロードとして追加されます。

ステップ 7 キーと値のペアを使用してシスコアプリを構成します。

(注) キーと値のペアは、アプリとともにダウンロードする必要があります。キーと値のペアを確認して正確性を確認し、設定を構成します。キーと値のペアがダウンロードされない場合は、手動で追加します。

ステップ 8 EMM アプリケーションコンソールで、アプリの配布を承認します。

ステップ 9 必要なアプリが含まれるように [Android キオスク (Android Kiosk)] モードを構成します。

(注) [キオスク (Kiosk)] モードは、電話機 UI のランチャです。オープニング画面で選択できるのは承認されたアプリのみです。

関連トピック

[シスコアプリパッケージ名](#) (27 ページ)

シスコアプリ構成用 Cisco Wireless Phone 構成管理ツール

エンタープライズモビリティ管理 (EMM) アプリケーションを使用してシスコアプリの設定を構成していない場合は、これらの各シスコアプリの設定を Cisco Wireless Phone 構成管理ツールで構成できます。

- バーコード
- バッテリ寿命
- ボタン
- カスタム設定
- PTT
- [緊急 (Emergency)]
- 通話品質設定
- Web API

Cisco Wireless Phone 構成管理ツールのこれらのアプリの設定とデフォルトは、電話機の場合と同じです。



(注) Cisco Wireless Phone 構成管理ツールのカスタム設定アプリで **[通知シェード設定ギアを許可する (Allow Notification Shade Settings Gear)]** を無効にすることをお勧めします。そうしないと、スマートランチャにないアプリが簡単に開いてしまいます。

関連トピック

[暗号化された電話機構成ファイルを作成](#)

電話機のシスコアプリ設定にアクセスする

エンタープライズモビリティ管理 (EMM) アプリケーションまたは Cisco Wireless Phone 構成管理ツールを使用してシスコアプリ設定を構成していない場合は、電話機で各シスコアプリ設定にアクセスできます。

手順

ステップ1 電話機で、任意のシスコアプリをタップします。

ボタン、**通話品質設定**、**カスタム設定**、および **Web API** アプリは、設定ページに直接開きます。

ステップ2 **バーコード**、**バッテリー寿命**、**緊急**、および**PTT**アプリの場合は、**[オーバーフロー (Overflow)]**メニューをタップします。

ステップ3 **[Settings]** をタップします。

緊急アプリ

緊急アプリおよび**非常ボタン**には、緊急状態を監視し、警告する機能があります。これらの機能は、一人で作業する環境や組織が追加のセキュリティを必要とする場所で役立ちます。これらの機能をどのようにプログラムするかは、予想される状況のタイプによって異なります。

- **緊急アプリ**は、加速度計を使用して、電話機ユーザーの個人の動きを監視します。構成されている場合、アプリはアラームを鳴らしたり、緊急通話を送信して、電話機の微動、傾き、または振動によって、ユーザーが何らかの身体的強迫を受けていることを示します。さまざまな程度の感度と警告をアクティブにする時間の長さで、各種モーション監視を構成できます。
- **非常ボタン**は、大音量または無音のアラームを生成し、プログラムされている場合は、事前にプログラムされた緊急番号に即座に発信します。デフォルトでは、電話機の上にある赤いボタンが**非常ボタン**として設定されています。緊急アプリには、ソフト**非常ボタン**もあります。



(注) 有効にすると、ユーザーは、**ボタン**アプリでボタンの動作を変更できます。必要に応じて、**ボタン**アプリのデフォルト**非常ボタン**を変更する機能を無効にできます。



注意 緊急アプリと**非常ボタン**の信頼性は、組織のインフラストラクチャの機能的信頼性に依存します。インフラストラクチャには、無線LAN、LAN、通話サーバー、中央プロビジョニングサーバー、ロケーションサービスをホストするサーバー、中央セキュリティシステムとそのサーバー、ハンドセットの正しい構成、正しいインストールおよび構成管理サーバー、および関係者の徹底的なトレーニングが含まれます。

当社は、上記の依存要因のいずれについて一切の責任を負いません。これに加えて、**非常ボタン**と**緊急アプリ**は、安全対策に対する唯一の解決策にしないでください。また、安全な慣行や手順に代わるものではないことに注意してください。

緊急アプリの構成

次の緊急アプリ設定を構成できます。

- モーションセンサー
- 非常ボタン
- 緊急通話
- 緊急呼び出し音

緊急イベント通知を送信する

システムがサードパーティのセキュリティアプリケーションと連動している場合は、アラーム状態がトリガーおよびキャンセルされたときに緊急イベント通知を送信することもできます。



(注) 警告を発する電話機の場所を特定するには、**緊急アプリ**は **Web API** アプリを使用して、電話機を見つけるためのメソッドと連携する必要があります。通常、SSIDとAPの位置を使用して電話機の位置を特定するタイプの位置情報サービスを使用します。

緊急または非常ボタンアラームのトリガーイベントとキャンセルイベントの両方で、URLに通知が送信されます。

手順

- ステップ 1** Web API 設定から、[**デバイスイベント通知 (Device event notifications)**] > [**新しい通知 URL を追加 (Add new notification URL)**] を選択します。
- ステップ 2** セキュリティアプリケーションのわかりやすい通知名と URL を入力します。
- ステップ 3** この URL に送信するイベントのタイプとして、**緊急イベント**の横のボックスをオンにします。

モーションセンサー

緊急モーションアラームがトリガーされると、構成可能な秒数の間、電話機に警告画面が表示されます。ユーザーが警告をキャンセルしなかった場合、アラーム状態が発生し、構成されている場合、電話機は緊急通話を発信します。

モーション検出器は、電話機が体に固定されている場合にのみ正確に機能します。ユーザーは、電話機をオフにせずに緊急アプリケーションをオフにすることはできません。緊急監視を一時的に停止できるように [スヌーズ (Snooze)] オプションを構成します。電話機が USB 充電器に接続されている場合も、緊急監視は一時停止されます。

モーションの条件は次の 3 つです。

- **不動** — 構成可能な秒数の間、電話機は不動となり、ユーザーがこれ以上動かないことを示しています。座っているときでも、ある程度の動きは正常ですが、まったく動かない場合は、意識がないか拘束されているために、人が動けない状態を示している可能性があります。
- **傾き** — 構成可能な秒数の間、電話機が垂直にならない場合、ユーザーが転倒しているか、着席、起立、歩行以外の姿勢であることを示します。傾斜状態は、ユーザーが何かを持ち上げるために体を傾けていることを示している場合があります。
- **走っている** — 電話機が震えを検出します。これは、ユーザーがすばやく動いているか、発作を起こしていることを示している場合があります。

組織のニーズと環境条件に基づいて、すべての電話機を同じ設定で構成することも、電話機をグループまたは個別に構成することもできます。

ユーザーはこれらの設定を制御できないため、過度の警告でユーザーに迷惑をかけずに、最も安全な応答を提供するように設定を構成する必要があります。

モーションセンサーの設定

次の設定を使用して、モーションセンサーを構成します。

表 1: モーションセンサーの設定

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
モニタリング	オン 消灯	消灯	緊急モーション監視を有効にします。 この設定を有効にすると、どのモーション設定でもアラームをトリガーできます。

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
移動感度なし	無効 レベル 1 (最低) レベル 2 レベル 2 レベル 2 レベル 2 レベル 2 レベル 7 (最高)	無効	アラームをトリガーするために、電話機の静止度または電話機のまたはどのような種類の動きがないかを設定します。 レベル 1 は最も感度が低くなります。ユーザーが動いているが、通常の上きい値を下回っている場合、アラームによってアラームがトリガーされます。 レベル 7 最も感度が高くなります。ユーザーがほぼ完全に静止すると、アラームがトリガーされます。
静止タイムアウト (秒単位)	整数 10 ~ 300	30	ユーザーが構成された静止度 (またはより厳しい度合) を維持する必要がある時間の長さを秒単位で設定します。
チルト感度	無効 レベル 1 (最低) レベル 2 レベル 2 レベル 2 レベル 2 レベル 2 レベル 7 (最高)	無効	アラームをトリガーするために必要な電話の非垂直位置を設定します。 レベル 1 は最も感度が低くなります。ユーザーがうつ伏せに近い状態になると、アラームがトリガーされます。 レベル 7 最も感度が高くなります。ユーザーが少し傾いていると、アラームがトリガーされます。
チルトタイムアウト (秒単位)	整数 10 ~ 300	10	ユーザーが構成された傾斜 (またはより厳しい角度) を維持する必要がある時間の長さを秒単位で設定します。

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
走行感度	無効 レベル 1 (最低) レベル 2 レベル 2 レベル 2 レベル 2 レベル 2 レベル 7 (最高)	無効	アラームをトリガーするために必要な電話機の振動度合いを設定します。 レベル 1 は最も感度が低くなります。大きな衝撃があると、アラームがトリガーされます。 レベル 7 最も感度が高くなります。ユーザーが速く歩いたり走ったりすると、アラームがトリガーされます。
走行タイムアウト (秒単位)	整数 10 ~ 60	10	ユーザーが構成された振動度合い (またはより大きな振動) の揺れを維持する必要がある時間の長さを秒単位で設定します。
スヌーズタイムアウト (秒単位)	整数 0 ~ 300	0	スヌーズ機能により、ユーザーは緊急モーション監視を一時的に停止できます。この機能を有効にするには、タイムアウトを 1 ~ 300 秒で設定します。デフォルトではスヌーズ機能は無効になっています (0 に設定)。
警告タイムアウト (秒単位)	整数 10 ~ 60	10	警告タイムアウトを秒単位で設定します。これは、警告がトリガーされてからアラーム状態になるまでの時間です。アラーム状態では、緊急通話が行われたり、アラームが外部のセキュリティアプリケーションに送信されたりする可能性があります。

関連トピック

[電話機のシスコアプリ設定にアクセスする](#) (4 ページ)

非常ボタン構成設定

ユーザーが有効な非常ボタンをアクティブにすると、ユーザーがキャンセルするまで電話機にアラームが表示されます。デフォルトでは、非常ボタンは無効になっています。

以下の設定を使用して、非常ボタンを構成します。

表 2: 非常ボタン構成設定

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
非常ボタン	無効 長押し 2回の短押し 2回の短押しまたは1回の長押し	無効	ユーザーが 非常ボタン アラームをトリガーするために使用するシーケンスを定義します。 この設定から 非常ボタン アラームを無効にすることもできます。
非常ボタンサイレントアラーム	オン オフ	オン	サイレントアラームを有効にします。これにより、ユーザーが 非常ボタン をトリガーしたときに鳴る大音量のローカルアラームが無効になります。ユーザーが強迫されている場合、サイレントアラームは加害者に対して警報は鳴りません。
非常ボタンアラームのタイムアウト	整数 5 ~ 30	5	非常アラームのタイムアウト時間を秒単位で設定します。

関連トピック

[電話機のシスコアプリ設定にアクセスする](#) (4 ページ)

非常ボタン構成オプション例

ユーザーのニーズに基づいてさまざまなアクションを実行するように非常ボタンを設定できます。

表 3: 非常ボタン構成オプション例

オプション	説明	設定
緊急電話なしのローカル非常アラーム	ユーザーが近くにいる人に大音量のアラームで警告できるようにしますが、緊急通話はいきません。 大音量のアラームは、ユーザーの位置を特定したり、潜在的な脅威を排除したりするのに役立ちます。	[非常ボタンのサイレントアラーム (Panic button silent alarm)] をオフに設定します。 [緊急通話 (Emergency call)] をオフに設定します。

オプション	説明	設定
緊急電話の有無にかかわらずサイレント脅迫状態通報	<p>ユーザーが助けを求めるアラーム信号をサイレントで送信できるようにします。</p> <p>ユーザーが緊急通話も行う必要がある場合は、スピーカーフォンオプションをオフにして無音を維持します。</p> <p>非常ボタンが自動的に外部セキュリティアプリケーションにアラートを送信する場合は、緊急通話を設定する必要はありません。</p>	<p>[非常ボタンのサイレントアラーム (Panic button silent alarm)] をオンに設定します。</p> <p>[緊急通話 (Emergency call)] をオンまたはオフに設定します。</p> <p>必要に応じて、[緊急ダイヤル強制スピーカー (Emergency dial force speaker)] をオフに設定します。</p>
緊急電話による行動不能非常アラーム	<p>行動不能のユーザーが緊急通話を発信できるようにします。</p> <p>行動不能のユーザーは、電話機を耳に当てることができない場合があります。通話の音声は双方に聞こえるようにするには、アラームを無音に設定し、[強制スピーカーフォン (forced speakerphone)] オプションをオンにします。</p>	<p>[非常ボタンのサイレントアラーム (Panic button silent alarm)] をオンに設定します。</p> <p>[緊急通話 (Emergency call)] をオンに設定します。</p> <p>[緊急ダイヤル強制スピーカー (Emergency dial force speaker)] をオンに設定します。</p>

緊急通話設定

ユーザーが非常ボタンをアクティブにしたときに緊急通話を発信するように、非常ボタンを構成できます。デフォルトでは、緊急通話は無効です。

次の設定を使用して、緊急通話を構成します。

表 4: 緊急通話設定

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
緊急通話	オン 消灯	消灯	ユーザーが非常ボタンまたは緊急モーションアラームをトリガーした場合、電話機が [緊急ダイヤル番号 (Emergency dial number)] で構成された緊急番号に発信できるようにします。

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
緊急ダイヤル フォースピー カー	オン オフ	オン	電話機が緊急通話を発信したときに スピーカーフォンを有効にします。 この設定により、ユーザーは電話を 耳に当てることができない場合にハ ンズフリーモードにすることができます。
緊急ダイヤル番号	任意の有効な TN 911	911	ユーザーが非常ボタンまたは緊急 モーションアラームをトリガーした ときに電話機がダイヤルする番号を 定義します。 緊急通話を行うには、他の関連設定 を構成して有効にする必要があります。 緊急ダイヤル番号を入力するとき は、ダイヤルプランのルールに従っ てください。

関連トピック

[電話機のシスコアプリ設定にアクセスする](#) (4 ページ)

緊急呼び出し音設定

使用可能な電話の着信音のリストから、緊急呼び出し音とアラーム音を設定できます。

次の設定を使用して、緊急呼び出し音を構成します。

表 5: 緊急呼び出し音設定

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
警告音	デフォルトの通知 音 なし 使用可能な警告音 のリスト	デフォルト (ピク シーダスト)	警告中に再生する音を構成します。 徐々に音量が大きくなります。ユー ザーがハンドセットを消音しても、 音が再生されます。 (注) 非常ボタンには警告期間 はありません。そのまま アラーム状態になりま す。

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
アラーム音	デフォルトのアラーム音 なし 利用可能なアラーム音一覧	デフォルト (セシウム)	非常ボタンが押されたとき、または緊急アラームがトリガーされたときに再生する音を設定します。この音は大音量で再生されます。ユーザーがハンドセットを消音しても、音が再生されます。

関連トピック

[電話機のシスコアプリ設定にアクセスする](#) (4 ページ)

緊急アプリと非常ボタンのトレーニング

組織内での緊急アプリと非常ボタンの使用方法について、ユーザーをトレーニングしてください。次のリストをガイドとして使用してください。

- モニタリング
 - どのモーション検出センサーがアクティブですか。感受性の度合いは？タイムアウトとは何ですか。警戒状態はどれくらい続きますか。
 - アラームがトリガーされるとどうなりますか。緊急通話がありますか。外部のセキュリティアプリケーションはありますか。ある場合、どのように動作しますか。
 - スヌーズオプションは構成されていますか。されている場合、長さはどれくらいですか。
- 非常ボタン
 - 非常ボタンはどのように有効化しますか。長押し、短押しを2回またはそれ以外ですか。
 - 非常ボタンを押すと、電話機から緊急通話ができますか。
 - 非常ボタンを押すと、スピーカーフォンからアラームが鳴りますか。
 - 電話機で緊急通話をした場合、音声はスピーカーフォンから聞こえますか。

プッシュトゥートーク (PTT) app

プッシュトゥートーク (PTT) (PTT) アプリは、ラジオマルチキャストアプリで、電話機は、トランシーバーのようにグループブロードキャストモードで動作します。

PTT機能をネットワークで動作させる場合、アクセスポイントでマルチキャスト機能を有効にする必要があります。詳細については、[Cisco Wireless Phone 840 および 860 「ローカルエリアネットワーク \(LAN\) 導入ガイド」](#)を参照してください。

デフォルトでは、PTTは無効です。管理者は、次のことを行います。

- PTT モードを有効または無効にします。
- ユーザーを 25 の利用可能なチャネルの一部またはすべてにサブスクライブして、ブロードキャストを受信し、必要に応じて送信します。

関連トピック

[電話機のシスコアプリ設定にアクセスする](#) (4 ページ)

プッシュトゥーク (PTT) のユーザー設定

ユーザーは、電話機で次のプッシュトゥーク (PTT) (PTT) 設定を制御できます。

表 6: PTT のユーザー設定

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
PTT 音量	整数 0 ~ 100	20	PTT 音量をパーセントで制御します。
デフォルトチャネル	チャンネル 1 ~ すべて [チャンネルが送信可能 (Channel can transmit)]と [チャンネル サブスクリプション (Channel subscription)]の 両方が [はい (Yes)]に設定 されているチャネル	チャンネル 1 ~ すべて	ユーザーはデフォルトのチャンネルを設定します。デフォルトのチャンネルは、ユーザーがプログラムされた [PTT] ボタンまたは [通話 (Talk)] ボタンを PTT アプリで押した際にブロードキャストされるチャンネルです。 ユーザーは、チャンネルに登録しており、チャンネルで送信できる場合にのみ、チャンネルをデフォルトチャンネルとして設定できます。

プッシュトゥーク (PTT) の管理設定

次の管理設定を使用して、プッシュトゥーク (PTT) (PTT) を構成します。

表 7: PTT の管理設定

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
PTT を有効にする	オン 消灯	消灯	選択したハンドセットで起動させるために PTT を有効化します。
電話機のロック時に PTT 送信を許可する	オン 消灯	消灯	リリース 1.3(0) 以降、電話機がロックされていても送信するように PTT を設定できます。
ユーザ名	テキスト (Text)	匿名	これは、ブロードキャストに表示される発信者 ID です。通常、デバイスまたはグループレベルで設定します。何も入力しない場合、デフォルト値は、[匿名 (Anonymous)] です。
マルチキャストアドレス。	ドメイン名または IP アドレス	224.0.1.116	ブロードキャストトラフィックのマルチキャストアドレスを定義します。
コーデック	G.711Mu G.726	G.726	コーデックを定義します。
チャンネル設定			最大 25 の PTT チャンネルを設定できます。デフォルトでは、チャンネル #1 ラベルはデフォルトで ALL に設定されており、その送信オプションとサブスクリプションオプションは [はい (Yes)] に設定されています。

以下のチャンネルセットアップ設定を使用して、必要な PTT チャンネルを構成します。

表 8: チャンネルセットアップ設定

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
チャンネル #n ラベル	文字列	チャンネル #1 の場合: すべて チャンネル #2 ~ 25 の場合: 空白	チャンネルのラベルを入力できます。 (注) 15文字を超えるラベルを入力できますが、長いラベルはハンドセットに表示されるときに部分表示となります。
チャンネル送信可	はい 非対応	チャンネル #1 - ALL の場合: はい チャンネル #2 ~ -25 の場合: いいえ	ユーザーがチャンネルで送信できるようにします。
チャンネルサブスクリプション	はい 非対応	チャンネル #1 - ALL の場合: はい チャンネル #2 ~ -25 の場合: いいえ	ブロードキャストを受信できるように、ユーザーをチャンネルに登録します。

バッテリー寿命アプリ

デフォルトでは、バッテリーの監視は無効になっています。バッテリー寿命の監視を有効にすると次のことが可能になります。

- **バッテリー寿命**アプリダッシュボードに、シリアル番号、容量、温度、充電状態、全体的な状態など、バッテリーの現在の状態が表示されます。
- バッテリー残量のパーセンテージが設定された**低バッテリーしきい値**を下回ると、低バッテリー警告通知が画面に表示されます。

管理者として、バッテリー低下アラームの音と振動を有効にすることもできます。



- (注) Cisco Wireless Phone 860 および Cisco Wireless Phone 860S には、ホットスワップ中に電話機を動作させる予備バッテリーが内蔵されています。**バッテリー寿命**アプリのダッシュボードには、内蔵バッテリーの一般的なステータスが表示されます。予備電池の詳細については、**[追加のメトリックとオプションを開く (Open additional metrics and options)]** をタップできます。

Cisco Wireless Phone 840 および 840S には内蔵バッテリーはありません。

関連トピック

[電話機のシスコアプリ設定にアクセスする](#) (4 ページ)

バッテリー寿命のユーザー設定

ユーザーは、次のバッテリー寿命設定を制御します。

表 9: バッテリー寿命のユーザー設定

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
アラーム音量	整数 0 ~ 100	50	バッテリー低下アラームの音量のパーセンテージを制御します。 これはユーザー制御の設定です。

バッテリー寿命の管理設定

次の管理設定を使用して、バッテリー寿命アプリを構成します。

表 10: バッテリー寿命の管理設定

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
アラーム音量	整数 0 ~ 100	50	バッテリー低下アラームの音量のパーセンテージを制御します。 これはユーザー制御の設定です。
バッテリー監視を有効にする	オン 消灯	消灯	バッテリー監視を有効にします。無効にすると、バッテリー低下アラームは鳴りません。シリアル番号、容量、温度、充電状態などのバッテリー寿命の詳細は表示されません。

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
バイブレーション	オン 消灯	消灯	バッテリーアラームがアクティブで、バッテリー監視が有効になっている場合、電話機が振動します。
音響	オン 消灯	消灯	バッテリーアラームがアクティブで、バッテリー監視が有効になっている場合、バッテリーアラームのサウンドを有効にします。
アラーム音	デフォルトのアラーム音 なし 利用可能なアラーム音一覧	デフォルト (セシウム)	バッテリーアラーム音を定義します。
低バッテリーしきい値	15% 20%	15%	アラームをトリガーするバッテリー残量をパーセンテージで定義します。
スヌーズ時間	1分 2分 3分 4分 5分	/ngfw に 2.5 GB	ユーザーがバッテリー寿命アラームをスヌーズしたときにアラームが無音になる分数を定義します。

ボタンアプリ

ボタンアプリを使用すると、電話機のボタンをプログラムできます。すべてのボタンまたは特定のボタンのユーザー制御を無効にすることができます。たとえば、**プログラム可能な緊急ボタン**のユーザー制御を無効にし、ユーザーが常にその機能にアクセスできるようにすることができます。

プログラム可能ボタン

次の図と表は、電話機のプログラム可能なボタンを示しています。



- (注) Cisco Wireless Phone 840 と Cisco Wireless Phone 860 のプログラム可能なボタンは同じ場所ではありません。また、Cisco Wireless Phone 840 および 840S には [指紋 (Fingerprint)] ボタンはありません。

図 1: Cisco Wireless Phone 840 および 840S のプログラム可能なボタン

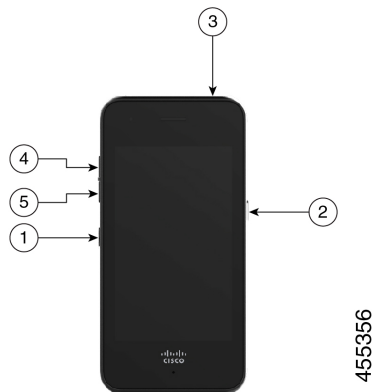


図 2: Cisco Wireless Phone 860 および 860 シリーズのプログラム可能なボタン

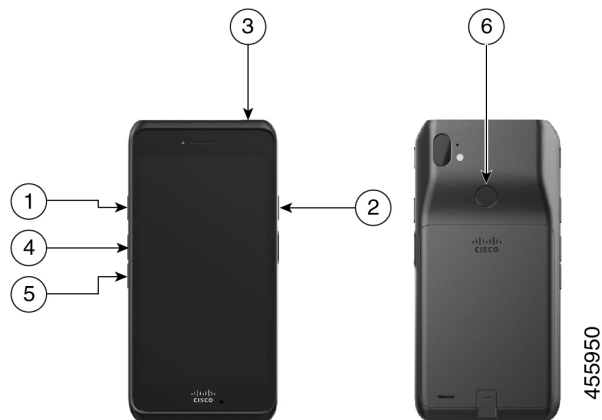


表 11: プログラム可能ボタン

図表番号	プログラム可能なボタン
1	左ボタン
2	右ボタン
3	トップへ
4	音量大

図表番号	プログラム可能なボタン
5	音量小
6	指紋 — Cisco Wireless Phone 860 および 860 シリーズ 専用。

ボタン設定

ボタンアプリ設定では、次を実行できます。

- 一部またはすべてのプログラム可能なボタンを変更するユーザーの機能を有効または無効にします。
- デフォルトのプログラム可能なボタンアクションを変更できます。

次の設定を使用して、ボタンを構成します。

表 12: ボタン設定

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
ユーザーが左ボタンを割り当てる	有効 無効	有効	ユーザーが 左ボタン を変更できるようにします。

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
左ボタン	アクションなし ホーム キー バック キー メニュー キー PTT 緊急 音量大 音量小 アプリケーション の実行 URL を開く スキャナ (800S Phone のみ) Custom 1 Custom 2 Custom 3 Custom 4	バーコードスキャ ナを搭載した電話 機の場合：スキャ ナ バーコードスキャ ナがない電話機 の場合：何もしない	[ユーザーが左ボタンを割り当てる (Left button user assigned)] を有効にすると、ユーザーがボタンのアクションを制御できるようになります。
ユーザーが右ボタンを割り当てる	有効 無効	有効	ユーザーが 右ボタン を変更できるようにします。

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
右ボタン	アクションなし ホーム キー バック キー メニュー キー PTT 緊急 音量大 音量小 アプリケーション の実行 URL を開く スキャナ (800S Phone のみ) Custom 1 Custom 2 Custom 3 Custom 4	PTT	[ユーザーが右ボタンを割り当てる (Right button user assigned)] を有効にすると、ユーザーがボタンのアクションを制御できるようになります。
ユーザーがトップ ボタンを割り当てる	有効 無効	有効	ユーザーが トップ ボタンを変更できるようにします。

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
トップへ	アクションなし ホーム キー バック キー メニュー キー PTT 緊急 音量大 音量小 アプリケーション の実行 URL を開く スキャナ (800S Phone のみ) Custom 1 Custom 2 Custom 3 Custom 4	緊急	[ユーザーがトップボタンを割り当てる (Top button user assigned)] を有効にすると、ユーザーがボタンのアクションを制御できるようになります。
ユーザーが指紋ボタンを割り当てる	有効 無効	有効	Cisco Wireless Phone 860 および Cisco Wireless Phone 860S のみ。 ユーザーが指紋ボタンを変更できるようにします。

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
フィンガープリント	アクションなし ホーム キー バック キー メニュー キー PTT 緊急 音量大 音量小 アプリケーション の実行 URL を開く スキャナ (800S Phone のみ) フィンガープリン ト Custom 1 Custom 2 Custom 3 Custom 4	フィンガープリン ト	Cisco Wireless Phone 860 および Cisco Wireless Phone 860S のみ。 [ユーザーが指紋ボタンを割り当てる (Fingerprint button user assigned)] を有効にすると、ユーザーがボタン のアクションを制御できるようになり ます。
ユーザーが音量 アップボタンを割 り当てる	有効 無効	有効	ユーザーが音量アップボタンを変更 できるようにします。

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
音量大	アクションなし ホーム キー バック キー メニュー キー PTT 緊急 音量大 音量小 アプリケーション の実行 URL を開く スキャナ (800S Phone のみ) Custom 1 Custom 2 Custom 3	音量大	[ユーザーが音量アップボタンを割り 当てる (Volume up button user assigned)] を有効にすると、ユー ザーがボタンのアクションを制御で けるようになります。
ユーザーが音量ダ ウンボタンを割り 当てる	有効 無効	有効	ユーザーが 音量ダウン ボタンを変更 できるようにします。

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
音量小	アクションなし ホーム キー バック キー メニュー キー PTT 緊急 音量大 音量小 アプリケーション の実行 URL を開く スキャナ (800S Phone のみ) Custom 1 Custom 2 Custom 3	音量小	[ユーザーが音量ダウンボタンを割り当てる (Volume down button user assigned)] を有効にすると、ユーザーがボタンのアクションを制御できるようになります。

関連トピック

[シスコアプリパッケージ名 \(27 ページ\)](#)

[電話機のシスコアプリ設定にアクセスする \(4 ページ\)](#)

アプリケーションを実行するボタンを設定する

電話上で任意のアプリを開くようにプログラム可能なボタンを構成できます。

エンタープライズモビリティ管理 (EMM) アプリケーションで、構成文字列にアプリパッケージ名とアプリアクティビティ名の両方を指定します。

```
<package name>/<package name>.<activity name>
```

アプリアクティビティ名を含めると、指定したアプリを電話にインストールする前に、その構成を電話機にプッシュできます。



- (注) アプリパッケージ名のみを使用していて、アプリがまだ電話機にない場合、ボタンアプリはその設定を適用できません。後でアプリをインストールし、ユーザーがボタンを押しても、アプリは起動しません。

手順

ステップ1 EMM アプリケーションで、[アプリケーションの実行 (Run application)] を選択します。

ステップ2 アプリのパッケージ名とアプリ内画面のアクティビティ名を入力します。

たとえば、シスコ電話アプリのパッケージ名は `com.cisco.phone` です。パッケージ名とダイアラアクティビティ名は、`com.cisco.phone/com.cisco.phone.activities.Dialer` です。

シスコアプリパッケージ名

シスコアプリのパッケージ名は次のとおりです。

表 13: シスコアプリパッケージ名

シスコアプリケーション	シスコアプリパッケージ名
バーコード	<code>com.cisco.barcode.service</code>
バッテリー寿命	<code>com.cisco.batterylife</code>
ボタン	<code>com.cisco.buttons</code>
通話品質設定	<code>com.cisco.callquality</code>
シスコの電話機	<code>com.cisco.phone</code>
カスタム設定	<code>com.cisco.customsettings</code>
診断	<code>com.cisco.diagnostics</code>
緊急	<code>com.cisco.emergency</code>
ロギング	<code>com.cisco.logging</code>
PTT	<code>com.cisco.ptt</code>
システムアップデート	<code>com.cisco.sysupdater</code>
Web API	<code>com.cisco.webapi</code>



(注) スマートランチャアプリとデバイスポリシーコントローラアプリは Google ストアにはなく、Cisco Wireless Phone Configuration Management ツールからのみ入手できます。

バーコードアプリ

Cisco Wireless Phone 840S および Cisco Wireless Phone 860S には、バーコードスキャナが組み込まれています。Cisco Wireless Phone 840 および Cisco Wireless Phone 860 には、バーコードスキャナはありません。

デフォルトでは、バーコードスキャナは、サポートされているすべてのコードと一緒に有効です。管理者は、バーコードアプリの[一般設定 (General settings)]、[デフォルト設定 (Default settings)] および [ScanFlex] 設定を制御できます。

管理者は次のことができます。

- バーコードスキャンを有効または無効にします。
- デプロイするコードを決定します。
- スキャンの確認応答を設定します。
- スキャンライトの強度を設定します。
- Enter キーを設定して、スキャンによって入力される次のフィールドに移動します。
- 改行の自動入力を有効にします。
- 電話機をユーザーに渡す前に、スキャンバーコードをテストします。

関連トピック

[電話機のシスコアプリ設定にアクセスする](#) (4 ページ)

[バーコードをテストスキャン](#) (48 ページ)

バーコード記号

Cisco Wireless Phone 840S および 860S バーコードスキャナは、次のバーコード記号体系をサポートしています。

表 14: サポートされているバーコード記号体系

Aztec	Codabar	Interleaved 2 of 5
CCA EAN-128	Code 11	ISBT-128
CCA EAN-13	Code 128	ISBT-128 Con
CCA EAN-8	Code 32	Macro PDF
CCA GS1 DataBar Expanded	Code 39 Full ASCII	Macro QR
CCA GS1 DataBar Limited	Code 39 Trioptic	Matrix 2 of 5
CCA GS1 DataBar-14	Code 93	Micro PDF

CCA UPC-A	DataMatrix	Micro QR
CCA UPC-E	EAN-128	MSI
CCB EAN-128	EAN-13	PDF-417
CCB EAN-13	EAN-13 + 2 Supplemental	QR コード
CCB EAN-8	EAN-13 + 5 supplemental EAN-8	UPC-A
CCB GS1 DataBar Expanded	EAN-8	UPC-A + 2 Supplemental
CCB GS1 DataBar Limited	EAN-8 + 2 Supplemental	UPC-A + 5 supplemental
CCB GS1 DataBar-14	EAN-8 + 5 supplemental	UPC-E0
CCB UPC-A	GS1 128	UPC-E0 + 2 Supplemental
CCB UPC-E	GS1 DataBar Expanded	UPC-E0 + 5 supplemental
CCC EAN-128	GS1 DataBar Limited	
	GS1 DataBar-14	
	Han Xin	

バーコードアプリの一般設定

次の設定を使用して、バーコードスキャナを有効または無効にし、音やバイブレーションなどの一般的なスキャン設定を構成します。

表 15: バーコードアプリの一般設定

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
バーコードスキャナを有効化	オン オフ	オン	バーコードスキャナを有効にします。
セッションタイムアウトの復号化	0.5 秒 ~ 9.9 秒	5	復号化セッションのタイムアウトの時間を設定します。
スキャン時にバイブレーション	オン オフ	オン	スキャン時に電話機が振動するように設定します。
スキャン音	オン オフ	オン	スキャン時に音を鳴らすように電話機を設定します。

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
バーコードの音	低音のビーブ音 1 回 低音のビーブ音 2 回 高音のビーブ音 2 回	低音のビーブ音 1 回	バーコードのスキヤン音を設定します。
照度	0 ~ 10	5	バーコードスキヤナの照度を設定します。

バーコードアプリのデフォルト設定

バーコードアプリには、次のデフォルト設定を設定できます。

データ操作設定

次の設定を使用して、データの自動追加やストライピングなど、スキヤンしたデータの操作方法に関するルールを構成します。

表 16: データ操作設定

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
AIM コードまたはシンボル ID を有効にする	無効 AIM コードを有効にする シンボル ID を有効にする	無効	データの前に AIM コードまたはシンボル ID をプレフィックスを付けます。 AIM コードは業界標準の 3 文字の識別子であり、スキヤナのデコーダによって生成される記号体系に関する情報を提供します。コードはスキヤンされたバーコードの先頭に付加され、キーボードインジェクションおよびintent を介して送信されるデータで使用される場合があります。
自動改行	オン 消灯	消灯	入力フィールドにテキストを挿入するときに Enter を追加します。
自動タブ	オン 消灯	消灯	挿入されたバーコード値の最後にタブを追加します。

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
バーコードデータの削除	オン 消灯	消灯	スキャンされたバーコードデータから末尾または先頭の空白を削除します。
文字を左から取り除く	整数	0	バーコードデータの（画面に表示されているように）左からこの数の文字を取り除きます。 正の整数のみが許可されます。
文字を右から取り除く	整数	0	バーコードデータの（画面に表示されているように）右からこの数の文字を取り除きます。 正の整数のみが許可されます。
プリペンドする文字列	文字列		スキャンしたバーコードデータの前に文字列を付加します。
アペンドする文字列	文字列		スキャンしたバーコードデータに文字列を追加します。

カスタムintent設定

次の設定を使用して、カスタムintent設定を構成します。

表 17: カスタムintent設定

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
intent配信方法	無効 Stat アクティビティ Start サービス Start foreground サービス Send ブロードキャスト	無効	intentの配信方法を選択します。
intentアクション	文字列		intentアクションを入力します。
intentカテゴリ	文字列		intentカテゴリを入力します。

コード設定

次の設定を使用して、個々のバーコードのコードとその関連設定を有効または無効にします。デフォルトで、すべてのコードが有効化されます。

次の表では、Aztec コードのデフォルト設定について説明します。

表 18: Aztec

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
Aztec を有効にする	オン オフ	オン (On)	コードを有効または無効にします。
Aztec の復号化	通常 インバース 両方	通常	復号化を設定します。

次の表は、Codabar コードのデフォルト設定を説明しています。

表 19: Codabar

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
Codabar を有効にする	オン オフ	オン (On)	コードを有効または無効にします。
Codabar 長	0 ~ 55	5	Codabar の長さを設定します。
Codabar NOTIS 編集を有効にする	オン オフ	オフ	開始文字と停止文字を削除します。

次の表は、Code 11 コードのデフォルト設定を示しています。

表 20: Code 11

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
Code 11	オン オフ	オン (On)	コードを有効または無効にします。

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
Code 11 チェック デジットの確認	チェックディジット を無効にする 1つのチェック ディジット 2つのチェック ディジット	チェックディジット を無効にする	チェックディジットの検証を有効ま たは無効にします。
送信コード 11 チェックデジット を有効にする	オン オフ	オフ	送信を有効または無効にします。 送信するには、検証を有効にしま す。

次の表は、Code 32 コードのデフォルト設定を示しています。

表 21: Code 32

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
Code 32	オン オフ	オン (On)	コードを有効または無効にします。 Code 39 を有効にして、Code 32 を有 効にします。

次の表は、Code 39 コードのデフォルト設定を示しています。

表 22: Code 39

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
Code 39 を有効に する	オン オフ	オン (On)	コードを有効または無効にします。 Code 39 を有効にして、Code 32 を有 効にします。
Code 39 チェック ディジットの検証 を有効にする	オン オフ	オフ	チェックディジットの検証を有効ま たは無効にします。
Code 39 チェック デジットの送信を 有効にする	オン オフ	オフ	送信を有効または無効にします。
Code 39 フル ASCII 変換を有効 にする	オン オフ	オフ	フル ASCII 変換を有効または無効に します。

次の表は、Code 93 コードのデフォルト設定を示しています。

表 23: Code 93

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
Code 93 を有効にする	オン オフ	オン (On)	コードを有効または無効にします。

次の表は、Code 128 コードのデフォルト設定を示しています。

表 24: Code 128

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
Code 128 を有効にする	オン オフ	オン (On)	コードを有効または無効にします。

次の表では、データマトリックスコードのデフォルト設定について説明します。

表 25: データマトリックス

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
データマトリックスを有効にする	オン オフ	オン (On)	コードを有効または無効にします。
データマトリックスミラーイメージ	なし ミラー 両方	なし	ミラーイメージを設定します。
データマトリックス復号化	通常 インバース 両方	通常	復号化を設定します。

次の表は、EAN 8 コードのデフォルト設定を示しています。

表 26: EAN 8

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
EAN8 を有効にする	オン オフ	オン (On)	コードを有効または無効にします。

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
EAN 8 から EAN 13 への変換を有効にする	オン オフ	オフ	EAN 13 への変換を有効または無効にします。
EAN 8 チェック ディジットの送信 を有効にする	オン オフ	オフ	送信を有効または無効にします。

次の表は、EAN 13 コードのデフォルト設定を示しています。

表 27: EAN13

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
EAN 13 を有効にする	オン オフ	オン (On)	コードを有効または無効にします。

次の表は、GS1 DataBar コードのデフォルト設定を示しています。

表 28: GS1 データバー

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
GS1 DataBar 14 を有効にする	オン オフ	オン (On)	コードを有効または無効にします。
GS1 DataBar コン ポジット CCA CCB、および CCC を有効にする	オン オフ	オン (On)	
GS1 DataBar Expanded を有効 にする	オン オフ	オン (On)	
GS1 DataBar Limited を有効に する	オン オフ	オン (On)	

次の表は、GS1 128 コードのデフォルト設定を示しています。

表 29: GS1 128

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
GS1-128 を有効にする	オン オフ	オン (On)	コードを有効または無効にします。

次の表は、Han Xin コードのデフォルト設定を示しています。

表 30: Han Xin code

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
Han Xin code を有効にする	オン オフ	オン (On)	コードを有効または無効にします。

次の表は、Interleaved 2 of 5 のデフォルト設定を示しています。

表 31: Interleaved 2 of 5

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
Interleaved 2 of 5 を有効にする	オン オフ	オン (On)	コードを有効または無効にします。
Interleaved 2 of 5 のクワイエットゾーンを有効にする	オン オフ	オフ	クワイエットゾーンを有効または無効にします。
Interleaved 2 of 5 チェックディジット検証	無効 USS OPCC	無効	チェックディジットの検証を有効または無効にします。
Interleaved 2 of 5 チェックディジットの送信を有効にする	オン オフ	オフ	送信を有効または無効にします。
Interleaved 2 of 5 長さタイプ	1つの個別の長さ 2つの個別の長さ 範囲内の長さ 任意の長さ	1つの個別の長さ	連続する2つの整数フィールドの使用法を管理します。 2つの個別の長さ と 範囲内の長さ の場合、どの値がどのフィールドにあるかは関係ありません。

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
Interleaved 2 of 5 の長さ 1 を設定 (0 ~ 55)	0 ~ 55	18	無視する任意の長さを除くすべてのスキーム選択に適用できます。 デフォルト値は、1つの個別の長さ にのみ適用されます。
Interleaved 2 of 5 の長さ 2 を設定 (0 ~ 55)	0 ~ 55	0	2つの個別の長さ と範囲内の長さのみに適用されます。

次の表は、ISBT 128 コードのデフォルト設定を示しています。

表 32: ISBT 128

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
ISBT 128 を有効にする	オン オフ	オン (On)	Society of Blood Transfusion (ISBT) 128 コードを有効にします。
ISTB コードタイプ のペアを連結する ためのオプション を選択します	無効 有効 自動識別	無効	Disable ISBT Concatenation : デバイスは、 検知した ISBT コードのペアを連結しません。 Enable ISBT Concatenation : デバイスが 復号化して連結を実行するには、2つの ISBT コードが必要です。デバイスは、 単一の ISBT コードは復号化しません。 Autodiscriminate ISBT Concatenation : デバイスは ISBT コードのペアを即座に 復号化して連結します。ISBT シンボルが 1つしかない場合、デバイスはデータを 送信する前に、ISBT Concatenation Redundancy を介して設定された回数 だけシンボルを復号化して、追加の ISBT シンボルがないことを確認する 必要があります。
チェック ISBT テーブルを有効にする	オン オフ	オン (On)	[ISBT 連結 (ISBT Concatenation)] を 有効にする場合は、[ISBT テーブル のチェック (Check ISBT Table)] を 有効にして、このテーブルで見つ かったペアのみを連結します。

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
ISTB concatenation redundancy	2 ~ 20	10	[ISBT 連結 (ISBT Concatenation)] が [自動連結 (Autodiscriminate)] に設定されている場合、このオプションは、デバイスが追加のシンボルがないと判断する前に ISBT シンボルを復号化する必要がある回数を設定します。

次の表では、Matrix 2 of 5 コードのデフォルト設定について説明します。

表 33: Matrix 2 of 5

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
Matrix 2 of 5 を有効にする	オン オフ	オン (On)	コードを有効または無効にします。
Matrix 2 of 5 チェックデジットを有効にする	オン オフ	オフ	
Matrix 2 of 5 チェックディジットの送信を有効にする	オン オフ	オフ	送信を有効または無効にします。

次の表は、Micro PDF コードのデフォルト設定を示しています。

表 34: Micro PDF

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
Micro PDF を有効にする	オン オフ	オン (On)	コードを有効または無効にします。

次の表は、Micro QR コードのデフォルト設定を示しています。

表 35: Micro QR

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
Micro QR を有効にする	オン オフ	オン (On)	コードを有効または無効にします。

次の表は、MSI Plessey コードのデフォルト設定を示しています。

表 36: MSI Plessey

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
MSI Plessey	オン オフ	オン (On)	コードを有効または無効にします。
MSI チェックディジット数	1桁 2桁	1桁	
MSI チェックディジットの送信を有効にする	オン オフ	オフ	送信を有効または無効にします。
MSI チェックディジットアルゴリズム	MOD 10/MOD11 MOD 10/MOD10	MOD 10/MOD10	

次の表は、PDF 417 コードのデフォルト設定を示しています。

表 37: PDF 417

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
PDF 417 を有効にする	オン オフ	オン (On)	コードを有効または無効にします。

次の表は、QR コードのデフォルト設定を示しています。

表 38: QR

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
QR を有効にする	オン オフ	オン (On)	コードを有効または無効にします。
QR 復号化	通常 インバース 両方	通常	復号化を設定します。

次の表は、UPC-A コードのデフォルト設定を示しています。



- (注) 管理設定でオプションごとに EAN/UPC サプリメンタルを有効にして、UPC-A または UPC-E、あるいはその両方のサプリメンタルを有効にします。

表 39: UPC-A

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
UPC-A を有効にする	オン オフ	オン (On)	コードを有効または無効にします。
UPC-A チェック デジットの送信を 有効にする	オン オフ	オン (On)	送信を有効または無効にします。
UPC-A プリアン ブルを送信する	プリアンブルな し : 0 システムキャラク ター システムキャラク ターと国コード	システムキャラク ター	送信プリアンブルを設定します。

次の表は、UPC-E コードのデフォルト設定を示しています。



- (注) 管理設定でオプションごとに EAN/UPC サプリメンタルを有効にして、UPC-A または UPC-E、あるいはその両方のサプリメンタルを有効にします。

表 40: UPC-E

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
UPC-E を有効にする	オン オフ	オン (On)	コードを有効または無効にします。
UPC-E チェック ディジットの送信 を有効にする	オン オフ	オン (On)	送信を有効または無効にします。

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
UPC-E プリアンブルを送信する	プリアンブルなし システムキャラクター システムキャラクターと国コード	システムキャラクター	送信プリアンブルを設定します。
UPCE から UPCA への変換を有効にする	オン オフ	オフ	変換を有効または無効にします。

次の表は、1D バーコードのデフォルト設定を示しています。

表 41: 1D バーコード設定

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
Inverse 1D 復号化	Dark on light Light on dark どちらでも	Dark on light	復号化を設定します。

次の表では、補助コードの設定について説明しています。

表 42: サプリメンタル設定

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
UPCA、UPCE、EAN バーコードのサプリメンタル設定	無効 有効	無効	サプリメンタル設定を有効または無効にします。

次の表では、詳細なコードの設定について説明しています。

表 43: 詳細設定

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
EAN/UPC サプリメンタル	無効 有効	無効	EAN 8 と EAN 13 の両方でグローバル。

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
極性 (すべての一次元バーコード)	Dark on light どちらでも Light on dark	Dark on light	極性を設定します。

制御文字設定の置き換え

必要に応じて、次の置換制御文字設定を使用して、バーコード文字列内の特定の ASCII 0～31 制御文字キーをスペースまたは句読点に置き換えます。

表 44: 制御文字を置き換える

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
Replace n	制御文字の使用 SPACE ラテン語句読点 または記号のリスト	SPACE	制御文字 [n] をスペースまたは句読点に置き換えます。制御文字自体を使用することも選択できます。

次の表に、スペースまたは句読点に置き換えることができる制御文字を示します。

表 45: 制御文字

制御文字	制御文字 10 進数
NULL (NUL)	0
Start of Header (SOH)	1
Start of Text (STX)	2
End of Text (ETX)	3
End of Transmission (EOT)	4
Enquiry (ENQ)	5
Acknowledge (ACK)	6
Bell (BEL)	7
Backspace (BS)	8
Horizontal Tab (HT)	9
Line Feed (LF)	10
Vertical Tab (VT)	11

制御文字	制御文字 10 進数
Form Feed (FF)	12
Carriage Return (CR)	13
Shift Out (SO)	18
Shift In (SI)	15
Data Link Escape (DLE)	16
Data Control 1 (DC1)	17
Data Control 2 (DC2)	18
Data Control 3 (DC3)	19
Data Control 4 (DC4)	20
Negative ACK (NAK)	21
Synchronize (SYN)	22
End Text Block (ETB)	23
Cancel (CAN)	24
End Message (EM)	25
Substitute (SUB)	26
Escape (ESC)	27
File Separator (FS)	36
Group Separator (GS)	29
Record Separator (RS)	30
Unit Separator (US)	31

次の表は、制御文字の置き換えに使用できる句読点を示しています。

表 46: ラテン語句読点または記号

ラテン語句読点または記号	説明
!	感嘆符
"	引用符
#	シャープ
\$	ドル記号

ラテン語句読点または記号	説明
%	パーセント記号
&	アンパサンド
'	アポストロフィ
(左丸カッコ
)	右丸カッコ
*	アスタリスク
+	プラス記号
,	カンマ
-	ハイフン、マイナス
.	フルストップまたはピリオド
/	スラッシュまたは斜線
:	コロン
;	セミコロン
<	不等号 (より小)
=	等号
>	不等号 (より大)
?	疑問符
@	単価記号
[左大カッコ
\	バックスラッシュまたは逆斜線
]	右大カッコ
^	カレット、ハット
_	下線
`	抑音アクセント
{	左中カッコ
	パイプ、またはパイプライン
}	右中カッコ
~	チルダ

ScanFlex

Barcode サービスは、Barcode サービスが個々のアプリケーションのカスタムデータ操作をサポートできるようにする機能である ScanFlex を使用します。

バーコード設定とエンタープライズモビリティ管理 (EMM) アプリケーションインターフェースを使用して、Barcode サービスを使用するアプリケーションを、アプリデベロッパーが提供する正確なパッケージ名を含むプロファイルにグループ化できます。各プロファイル内で、必要なコードを有効にすると、カスタムデータ操作設定を構成できます。特定のアプリがフォアグラウンドで識別されると、バーコードスキャナは、その識別されたアプリ用にプログラムされたコードのみをスキャンします。

ScanFlex を使用すると、カスタムインテントにより具体性を提供できます。カスタムインテントが機能するには、サードパーティアプリケーションがフォアグラウンドにある必要があります。一般的なインテントの配信方法は次のとおりです。

- Start アクティビティ
- Start サービス
- Start foreground サービス
- Send ブロードキャスト

カスタムインテントとキーボードエミュレーションは、入力されたバーコードデータを使用します。

ScanFlex の設定

追加する ScanFlex アプリケーションまたは追加するアクティビティごとに次を設定します。

表 47: ScanFlex の設定

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
アプリケーション またはアクティビティ名	文字列		アプリケーションまたはアクティビティの名前を入力します。 複数の名前がある場合は、コンマ区切りで名前を入力します。
上記で入力したアプリケーションの コード設定			アプリケーションまたはアクティビティに必要なコード設定を設定します。
データのフォー マット			目的のコードを選択し、それらのデータ操作とカスタムインテント設定を設定します。

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
高度なデータ フォーマット			必要なコードを選択し、カスタムアクションとパラメータを設定します。

関連トピック

[バーコードアプリのデフォルト設定 \(30 ページ\)](#)

高度なデータフォーマットのアクション

ScanFlex の[高度なデータフォーマット (**Advanced data formatting**)]設定では、スキャンされた文字列に対して最大 10 の異なるアクションを実行するようにスキャナを設定できます。アクションを任意の順序で実行するように設定でき、必要に応じてアクションを繰り返すことができます。

各アクションには、パラメータ 1 とパラメータ 2 の 2 つのパラメータが関連付けられています。一部のアクションでは、[パラメータ (Parameter)] フィールドが必要ない場合があります。

次の表では、カーソルを動かすアクションについて説明しています。

表 48: カーソルを動かすアクション

アクション	カーソルアクションの説明	パラメータの方向
さあはじめましょう	カーソルを n スポット前に移動します。	パラメータ 1 に n と入力します。
元の場所に戻す	カーソルを n スポットの後方に移動します。	パラメータ 1 に n と入力します。
先頭に移動	カーソルを文字列の先頭に移動します。	パラメータは不要です。
末尾に移動	カーソルを文字列の末尾に移動します。	パラメータは不要です。
サブストリングの先頭に移動	サブストリングの先頭にカーソルを移動します。	パラメータ 1 にサブストリングを入力します。
サブストリングの末尾に移動	カーソルをサブストリングの末尾に移動します。	パラメータ 1 にサブストリングを入力します。

次の表では、カーソルを動かさないアクションについて説明しています。

表 49:カーソルを動かさないアクション


アクション	アクションの説明	パラメータの方向
空白を削除	先頭または末尾の空白を削除します。	パラメータは不要です。
すべての空白を削除	すべての空白を削除します。	パラメータは不要です。
先頭の 0 をすべて削除	文字列の左にある文頭の 0 を削除します。	パラメータは不要です。
先頭に 0 を埋め込む	先頭に n 個のゼロを追加します。	パラメータ 1 に n と入力します。
最初のサブストリングを置換	スキャンされた文字列で最初に見つかったサブストリングを置換えます。	パラメータ 1 に置き換えるサブストリングを入力し、パラメータ 2 に新しいサブストリングを入力します。
すべてのサブストリングを置換	スキャンされた文字列で見つかったすべてのサブストリングを置換えます。	パラメータ 1 に置き換えるサブストリングを入力し、パラメータ 2 に新しいサブストリングを入力します。
文字を削除	文字列で見つかった文字を削除します。	パラメータ 1 に文字を入力します。
テキストの追加	テキストの追加	パラメータ 1 にテキストを入力します。
コードを追加	文字を整数コードとして追加します。	パラメータ 1 に目的の文字の整数コードを入力します。
タブを追加	現在のカーソル位置からタブを追加します。 (注) ScanFlex は、タブの後に組み込みの一時停止を使用します。したがって、手動で一時停止を追加する必要はありません。	パラメータは不要です。

アクション	アクションの説明	パラメータの方向
Enter を追加	カーソルの現在位置に Enter を追加します。 (注) ScanFlex は、Enter の後に組み込みの一時停止を使用します。したがって、手動で一時停止を追加する必要はありません。	パラメータは不要です。

バーコードをテストスキャン

バーコードスキャナを初回使用前に、スキャナがバーコードタイプをスキャンするように正しく設定されていることを確認してください。

始める前に



- 小さなタブを使用して、バーコードスキャナのプラスチック カバーを取り外します。
- ボタンアプリ  を使用して、ボタンをスキャナとしてプログラムします。





(注) デフォルトでは、Cisco Wireless Phone 860S の左上のボタンがスキャナに設定されています。

デフォルトでは、Cisco Wireless Phone 840S の左下のボタンがスキャナに設定されています。

手順

- ステップ 1** バーコードアプリ  にアクセスします。
- ステップ 2** [オーバーフロー (Overflow)]: メニューをタップします。
- ステップ 3** [テストスキャン (Test scan)] をタップします。
- ステップ 4** [バーコード (Barcode)] 画面で、[バーコードスキャナ (barcode scanner)] ボタン  をタップします。
- ステップ 5** スキャンするバーコードから 1 ~ 18 インチ (2.5 ~ 46 センチ) の位置にバーコードリーダーを向けます。
- ステップ 6** ライトが消灯してピープ音が聞こえるまで、プログラムされた [スキャナ (Scanner)] ボタンを、バーコードシンボル全体を照らしながら押し続けます。

[バーコード (Barcode)]画面に、バーコードのタイプとスキャンしたバーコードデータが表示されます。[バーコード検索 (barcode search)]ボタン  が有効になります。

- ステップ 7** [バーコード検索 (barcode search)]ボタン  をタップして、スキャンしたバーコードに関するデータを検索します。
検索結果は、電話機のデフォルトのブラウザに表示されます。

カスタム設定アプリ

カスタム設定アプリでは、電話制御設定ができます。次のものが含まれます。

- 電話機ユーザーに特定の電話機設定へのアクセスを許可または制限できるユーザー制限。
- 時間、デバイス、スリープ、タッチ、サウンド、壁紙の設定などの一般的な管理可能電話機設定。

関連トピック

[電話機のシスコアプリ設定にアクセスする](#) (4 ページ)

カスタム設定のユーザー制限

デフォルトでは、すべてのユーザー制限がオンになっています。つまり、ユーザーは電話機でこれらの設定を制御できます。ユーザーが特定の設定を制御できないようにする場合は、これらの設定を [オフ (Off)] に変更できます。

Wi-Fi と機内モードに関するユーザー制限

次の表は、Wi-Fi と機内モードに関連するユーザー制限設定について説明しています。

表 50: Wi-Fi と機内モードに関するユーザー制限設定

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
Wi-Fi の切り替えを許可	オン オフ	オン	これが有効になっていて、[クイック設定を許可 (Allow quick settings)] タイルが有効になっている場合、ユーザーはクイック設定タイルで Wi-Fi を有効または無効にすることができます。 [クイック設定の許可 (Allow quick settings)] タイルが無効になっている場合、すべてのクイック設定タイルは使用できません。

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
機内モードの切り替えを許可	オン オフ	オン	これが有効になっていて、 [クイック設定を許可 (Allow quick settings)] タイルが有効になっている場合、ユーザーはクイック設定タイルで 機内モード を有効または無効にすることができます。 [クイック設定の許可 (Allow quick settings)] タイルが無効になっている場合、 機内モード のクイック設定タイルは使用できません。

クイック設定タイルのユーザー制限

次の表では、クイック設定タイルに関連するユーザー制限設定について説明します。

表 51: クイック設定タイルのユーザー制限設定

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
クイック設定タイルを許可する	オン オフ	オン	有効にすると、エンドユーザーはすべての有効なクイック設定タイルにアクセスできます。 無効にすると、エンドユーザーはすべてのクイック設定タイルにアクセスできなくなります。
Wi-Fi	オン オフ	オン	これが有効になっていて、 [クイック設定を許可 (Allow quick settings)] タイルが有効になっている場合、ユーザーはクイック設定タイルを制御できます。 無効にすると、クイック設定タイルが非表示になり、追加できなくなります。

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
Bluetooth	オン オフ	オン	これが有効になっていて、[クイック設定を許可 (Allow quick settings)] タイルが有効になっている場合、ユーザーはクイック設定タイルを制御できます。 無効にすると、クイック設定タイルが非表示になり、追加できなくなります。
サイレント	オン オフ	オン	これが有効になっていて、[クイック設定を許可 (Allow quick settings)] タイルが有効になっている場合、ユーザーはクイック設定タイルを制御できます。 無効にすると、クイック設定タイルが非表示になり、追加できなくなります。
懐中電灯	オン オフ	オン	これが有効になっていて、[クイック設定を許可 (Allow quick settings)] タイルが有効になっている場合、ユーザーはクイック設定タイルを制御できます。 無効にすると、クイック設定タイルが非表示になり、追加できなくなります。
回転ロック	オン オフ	オン	これが有効になっていて、[クイック設定を許可 (Allow quick settings)] タイルが有効になっている場合、ユーザーはクイック設定タイルを制御できます。 無効にすると、クイック設定タイルが非表示になり、追加できなくなります。

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
バッテリー節約	オン オフ	オン	これが有効になっていて、 [クイック設定を許可 (Allow quick settings)] タイルが有効になっている場合、ユーザーはクイック設定タイルを制御できます。 無効にすると、クイック設定タイルが非表示になり、追加できなくなります。
モバイルデータ	オン オフ	オン	これが有効になっていて、 [クイック設定を許可 (Allow quick settings)] タイルが有効になっている場合、ユーザーはクイック設定タイルを制御できます。 無効にすると、クイック設定タイルが非表示になり、追加できなくなります。
機内モード	オン オフ	オン	これが有効になっていて、 [クイック設定を許可 (Allow quick settings)] タイルが有効になっている場合、ユーザーはクイック設定タイルを制御できます。 無効にすると、クイック設定タイルが非表示になり、追加できなくなります。
キャスト (Cast)	オン オフ	オン	これが有効になっていて、 [クイック設定を許可 (Allow quick settings)] タイルが有効になっている場合、ユーザーはクイック設定タイルを制御できます。 無効にすると、クイック設定タイルが非表示になり、追加できなくなります。

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
ハイ タッチ	オン オフ	オン	これが有効になっていて、[クイック設定を許可 (Allow quick settings)] タイルが有効になっている場合、ユーザーはクイック設定タイルを制御できます。 無効にすると、クイック設定タイルが非表示になり、追加できなくなります。
ホットスポット	オン オフ	オン	これが有効になっていて、[クイック設定を許可 (Allow quick settings)] タイルが有効になっている場合、ユーザーはクイック設定タイルを制御できます。 無効にすると、クイック設定タイルが非表示になり、追加できなくなります。
常夜灯	オン オフ	オン	これが有効になっていて、[クイック設定を許可 (Allow quick settings)] タイルが有効になっている場合、ユーザーはクイック設定タイルを制御できます。 無効にすると、クイック設定タイルが非表示になり、追加できなくなります。
参照先	オン オフ	オン	これが有効になっていて、[クイック設定を許可 (Allow quick settings)] タイルが有効になっている場合、ユーザーはクイック設定タイルを制御できます。 無効にすると、クイック設定タイルが非表示になり、追加できなくなります。

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
色反転	オン オフ	オン	<p>これが有効になっていて、[クイック設定を許可 (Allow quick settings)] タイルが有効になっている場合、ユーザーはクイック設定タイルを制御できます。</p> <p>無効にすると、クイック設定タイルが非表示になり、追加できなくなります。</p>
データセーバー	オン オフ	オン	<p>これが有効になっていて、[クイック設定を許可 (Allow quick settings)] タイルが有効になっている場合、ユーザーはクイック設定タイルを制御できます。</p> <p>無効にすると、クイック設定タイルが非表示になり、追加できなくなります。</p>
ダークテーマ	オン オフ	オン	<p>リリース 1.3(0) 以降で利用可能な ダークテーマ 設定は、表示を明るい背景の暗いテキストから暗い背景の明るいテキストに変更します。</p> <p>これが有効になっていて、[クイック設定を許可 (Allow quick settings)] タイルが有効になっている場合、ユーザーはクイック設定タイルを制御できます。</p> <p>無効にすると、クイック設定タイルが非表示になり、追加できなくなります。</p>

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
ニアバイシェア	オン オフ	オン	リリース 1.3(0) 以降で利用可能なニアバイシェアは、電話機が特定の範囲内の他のデバイスとファイル、リンク、および写真を共有できるようにする Android プラットフォーム設定です。 これが有効になっていて、[クイック設定を許可 (Allow quick settings)] タイルが有効になっている場合、ユーザーはクイック設定タイルを制御できます。 無効にすると、クイック設定タイルが非表示になり、追加できなくなります。

通知シェード設定ギアのユーザー制限

次の表は、通知シェードの設定ギアに関連するユーザー制限設定について説明しています。

表 52: 通知シェード設定ギアのユーザー制限設定

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
通知シェード設定ギアを許可する	オン オフ	オン	有効にすると、ユーザーは通知シェードのギアを使用して Android 設定を変更できます。 無効にすると、ユーザーは通知シェードの Android 設定ギアにアクセスできなくなります。 (注) スマートランチャを使用して、特定のアプリや設定へのユーザーアクセスを制限している場合は、Cisco Wireless Phone 構成管理ツールを介してこの設定をできなくすることを推奨します。そうしないと、ユーザーはスマートランチャにないアプリを簡単に開くことができます。

時間に関連するユーザー制限

次の表は、時間に関連するユーザー制限の設定について説明しています。

表 53: 時間に関連するユーザー制限設定

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
タイムゾーンの構成を許可する	オン オフ	オン	有効になっている場合、電話機で [設定 (Settings)] > [システム (System)] > [日時 (Date & Time)] の順に選択すると、タイムゾーンを手動変更できます。 無効にすると、ユーザーは電話機のタイムゾーンを手動で変更できません。
時間形式の構成を許可する	オン オフ	オン	有効になっている場合、電話機で [設定 (Settings)] > [システム (System)] > [日時 (Date & Time)] の順に選択すると、時間形式を手動変更できます。 無効にすると、ユーザーは電話機の時間形式を手動で変更できません。
自動タイムゾーンの切り替えを許可する	オン オフ	オン	Wi-Fi 対応電話機には適用されません。

緊急通話に関するユーザー制限

次の表は、ロック画面からの緊急通話に関連するユーザー制限設定について説明しています。

表 54: 緊急通話に関するユーザー制限設定

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
ロック画面の緊急通話ボタンを許可する	オン オフ	オン	有効にすると、電話画面がロックされているときに [緊急 (EMERGENCY)] ボタンが表示されます。 (注) この設定を有効にするか無効にするかに関係なく、電話が通話中でロックされている場合は、 [通話に戻る (RETURN to CALL)] ボタンが表示されます。

ロック画面 proximity センサーのユーザー制限

次の表は、ロック画面 proximity センサーに関連するユーザー制限設定について説明しています。

表 55: ロック画面 proximity センサーのユーザー制限設定

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
ロック画面の proximity 検出	オン オフ	オン	有効にし、ユーザーが proximity センサーを覆うと、電話画面が自動的にロックされます。これにより、ユーザーが電話機をポケットに入れたときの誤入力を防ぎます。

その他カスタム設定

[カスタム設定 (Custom Settings)] の一部では、Android 設定メニューから特定の電話機設定をユーザーが制御できるようにすることができます。特定の設定を有効または無効にしたり、エンタープライズモビリティ管理 (EMM) アプリケーションまたは Cisco Wireless Phone 構成管理ツール レベルで特定の値を設定したりすることもできます。

[カスタム設定 (Custom Settings)] を構成するときは、次の点を考慮してください。

- EMM アプリケーションに値を設定すると、ユーザーは [カスタム設定 (Custom Settings)] メニューで値を変更できませんが、Android 設定メニューで変更できる場合があります。変更された値は [カスタム設定 (Custom Settings)] メニューに反映されますが、EMM アプリケーションは、いつでも変更された値を上書きする可能性があります。

- Cisco Wireless Phone 構成管理ツールに値を設定すると、ユーザーは[カスタム設定 (Custom Settings)]メニューまたは Android 設定メニューでその値を変更できません。
- カスタム設定を次のように設定した場合：
 - **[ユーザー制御 (User controlled)]**により、ユーザーは Android 設定メニューから設定を制御できます。この場合、[カスタム設定 (Custom Settings)]よりもAndroid 設定メニューが優先されます。
 - **有効**にすると、ユーザーは Android メニューで無効にすることができます。変更された値は [カスタム設定 (Custom Settings)]メニューに反映されますが、EMM アプリケーションは、いつでも変更された値を上書きする可能性があります。
 - **無効**にすると、ユーザーは Android メニューで有効にすることができます。変更された値は [カスタム設定 (Custom Settings)]メニューに反映されますが、EMM アプリケーションは、いつでも変更された値を上書きする可能性があります。
- 安全なランチャを使用している場合、[カスタム設定 (Custom Settings)]を**[ユーザー制御 (User controlled)]**に設定しても、ユーザーは Android 設定メニューにアクセスできません。

時刻

次の設定を使用して、カスタム時間設定を構成します。

表 56: Time 設定

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
NTP サーバのアドレス	文字列	2.android.pool.ntp.org	<p>Network Time Protocol (NTP) ドメイン名または IP アドレス</p> <p>インターネットに接続されていない電話機のローカルタイムサーバーを展開します。時間の取得元は、Google またはその他クラウドサーバーです。</p> <p>(注) リリース 1.5(0) から、NTP サーバーが使用できない場合に NTP サービスを提供するように DHCP オプション 42 でサーバーを定義することもできます。</p>

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
タイムゾーン	選択	未設定/延期	<p>使用可能なすべてのタイムゾーンのドロップダウンリスト。未設定/延期の場合、この構成を介してリモートでタイムゾーンを設定しません。</p> <p>注意 タイムゾーンの設定は国/地域/都市ごとに一覧表示され、Etc. (Etc/GMT+/-##) の下に数値設定もあります。ただし、数値（たとえば、-2 または +2）は、通常の GMT 時間指定とは逆になっています。Etc/GMT+2 の設定は、GMT-2 の実際の設定に置き換えられます。したがって、可能な場合は常に国/地域/都市オプションを使用することをお勧めします。</p>
時間フォーマット	未設定/延期 12時間 24時間	未設定/延期	未設定/延期の場合、この構成を介してリモートで時間形式を設定しません。
自動タイムゾーン	オン オフ	オン	自動タイムゾーンを有効または無効にします。

デバイス情報

次の設定を使用して、カスタムデバイス情報設定を構成します。

表 57: デバイス情報の設定

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
デバイス情報の表示	オン 消灯	消灯	有効にすると、この電話機が割り当てられているユーザーに関する詳細情報を表示する 4 つのテキストフィールドが表示されます。この情報は、電話機の通知とロックされた画面に表示されます。

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
デバイス情報 1	文字列		デバイス情報通知の最初のパラメータ
デバイス情報 2	文字列		デバイス情報通知の第 2 パラメータ
デバイス情報 3	文字列		デバイス情報通知の第 3 パラメータ
デバイス情報 4	文字列		デバイス情報通知の第 4 パラメータ

デバイス名

次の設定を使用して、デバイスのカスタム名を構成します。

表 58: デバイス名設定の編集

フィールド	フィールドタイプ	デフォルト	説明
デバイス名	文字列		Android デバイス名を設定できます。これは、エンタープライズモバイル管理 (EMM) アプリケーションを使用して電話機を構成する場合に役立ちます。

バッテリー

次の設定を使用して、カスタムバッテリー設定を構成します。

表 59: バッテリー設定

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
バッテリー最適化許可リスト	コンマ区切りの パッケージ名リスト		<p>Android バッテリー節約モードは、バッテリー寿命を延長するために機能を削減します。ただし、動作を維持したいアプリをオフにすることで、機能も低下します。このリストに追加したアプリは、ユーザーが電話機のバッテリー節約モードをオンにしても動作し続けます。</p> <p>注意 このリストに追加したアプリは、スリープ状態を維持することでバッテリー使用量を増加させます。ユーザーが予備のバッテリーを使用できることを確認してください。</p>
バッテリー節約を許可	オン オフ	オン	<p>有効にすると、ユーザーはバッテリー節約モードのオンとオフを切り替えることができます。</p> <p>バッテリー節約モードは、使用可能なアプリや機能しているアプリに大きな影響を与える可能性があります。</p>
バッテリーパーセンテージ	ユーザー制御 有効 無効	ユーザー制御	<p>ユーザー制御：電話機のステータスバーにバッテリーのパーセンテージを表示または非表示にするために Android 設定の バッテリーパーセンテージ を利用できるようにします。</p> <p>有効化および無効化：ユーザーが Android 設定の バッテリーパーセンテージ を利用できないようにし、EMM アプリケーションが設定を制御できるようにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ステータスバーにバッテリーのパーセンテージを表示します。 無効化とは、バッテリーのパーセンテージが電話機に表示されないことを意味します。

キーボード

次の設定を使用して、キーボードの Google 音声入力設定を構成します。

表 60: キーボード設定

フィールド	フィールドの選択肢	デフォルト	説明
Google™音声入力	オン オフ	オン	Google 音声入力を有効または無効にします。

スリープ

スリープ設定を構成するには、次の設定を使用します。

表 61: スリープ設定

フィールド	フィールドの選択肢	デフォルト	説明
非アクティブになってからスリープになるまでの時間	ユーザー制御 15 秒 30 秒 1 分 5分 10分 30 分	ユーザー制御	画面が非アクティブになってからタイムアウトするまでの時間を設定します。 [ユーザー制御 (User controlled)] により、ユーザーは Android 設定メニューからスリープ設定を制御できます。

ディスプレイ

Android 設定メニューで使用できる特定のディスプレイ設定を、EMM アプリケーションまたはエンドユーザーが制御できるようにします。

次の設定を使用して、カスタムディスプレイ設定を構成します。

表 62: ディスプレイ設定

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
ディスプレイサイズ	ユーザー制御 小規模 デフォルト 大規模	ユーザー制御	ディスプレイサイズを設定します。 これには、テキストや画像などのインターフェイス要素などが含まれます。 (注) Cisco Wireless Phone 840 および 840S の場合、大きなディスプレイサイズは、現在利用できません。このオプションを選択した場合、電話機はデフォルトのディスプレイサイズを使用します。
フォントサイズ	ユーザー制御 小規模 デフォルト 大規模 最大	ユーザー制御	フォントサイズを設定します。
システムナビゲーション	ユーザー制御 ジェスチャナビゲーション 2 ボタンナビゲーション 3 ボタンナビゲーション	ユーザー制御	システムナビゲーションを設定します。 (注) Cisco Wireless Phone 840 および 840S の場合、2 ボタンナビゲーションは現在使用できないため、このオプションを選択すると、電話機は3 ボタンナビゲーションを使用します。

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
画面の自動回転	ユーザー制御 有効 無効	ユーザー制御	<p>ユーザー制御：ユーザーが Android 設定の画面の自動回転を利用して、自動回転のオンとオフを切り替えられるようにします。</p> <p>有効化および無効化：ユーザーが Android 設定の画面の自動回転を利用できないようにし、EMM アプリケーションが設定を制御できるようにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 有効にすると、画面の自動回転がオンになります。 無効にすると、画面の自動回転がオフになります。

タッチ

Android 設定メニューで使用できる特定のタッチ設定を、EMM アプリケーション または エンドユーザーが制御できるようにします。

次の設定を使用して、カスタムタッチ設定を構成します。

表 63: タッチ設定

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
ダイヤルパッドの トーン	ユーザー制御 有効 無効	ユーザー制御	電話機で使用できるトーン、または EMM アプリケーション でプログラムされたカスタムトーン。
タッチ操作音	ユーザー制御 有効 無効	ユーザー制御	電話機または EMM アプリケーション で利用可能な打楽器オン。
タップで振動	ユーザー制御 有効 無効	ユーザー制御	ユーザーが電話機のタッチスクリーンをタップしたときの振動。

サウンド

次の設定を使用して、カスタムサウンド設定を構成します。

表 64: サウンド設定

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
呼び出し音	利用可能な着信音 のリスト	すべて	利用できるようにするシステム着信音を選択します。
デフォルトの着信音	デフォルトの着信音 利用可能な着信音 のリスト	デフォルト (Flutey Phone)	着信音 リストで有効にする必要があります。
通知音	利用可能な通知音 のリスト	すべて	利用できるようにするシステム通知音を選択します。
デフォルトの通知音	デフォルトの通知音 利用可能な通知音 のリスト	デフォルト (Pixie Dust)	通知音 リストで有効にする必要があります。
アラーム音	利用可能なアラーム音 のリスト	すべて	使用できるようにするシステムアラーム音を選択します。
デフォルトのアラーム音	デフォルトのアラーム音 利用可能なアラーム音一覧	デフォルト (Cesium)	アラームオン で有効にする必要があります。



- (注) Cisco Unified Communications Manager を使用すると、より多くの着信音、通知音、およびアラーム音をダウンロードできます。ダウンロードした着信音とサウンドは、それぞれのリストに表示されます。

カメラ

次の設定を使用して、カメラへのジャンプ設定を構成します。

表 65: カメラ設定

フィールド	フィールドの選択肢	デフォルト	説明
カメラにジャンプ	ユーザー制御 有効 無効	ユーザー制御	Android 設定メニューで使用できる特定のカメラ設定を、EMM アプリケーションまたはエンドユーザーが制御できるようにします。ユーザーが Android 設定のカメラにジャンプを設定できるようにします。 ユーザー制御は、Android 設定値が優先されることを意味します。

Wallpaper

次の設定を使用して、カスタム壁紙設定を構成します。

表 66: 壁紙設定

フィールド	フィールドタイプ	デフォルト	説明
ロック画面の壁紙	文字列	未設定	画像ファイルの正確な場所（電話機のどこに保存されているか）から始まる完全なファイルパスを入力します。 例: /sdcard/<name_of_image_file>。
ホーム画面の壁紙	文字列	未設定	完全なファイルパスを入力します。



- (注) Cisco Unified Communications Manager を使用すると、ロック画面とホーム画面の壁紙をさらにダウンロードできます。ダウンロードした壁紙は、それぞれのリストに表示されます。

Admin reboot コマンド

次の設定を使用して、custom admin reboot コマンド設定を構成します。

表 67: Admin reboot コマンド設定

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
Reboot コマンド ID	文字列		Reboot コマンド ID を設定します。

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
再起動スケジュールタイプ	タイマー 次にプラグインしたとき	タイマー	再起動のタイミングを設定します。

タイマー再起動構成

次の設定を使用して、カスタムタイマー再起動設定を構成します。

表 68: タイマー再起動構成設定

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
最初の自動再起動 試行までの時間	今すぐ (0分) 1分 5分 10分 15分 30分 1時間 2時間 3時間 4時間 6時間 8時間 12時間	今すぐ (0分)	最初の自動再起動試行までの時間を設定します。

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
再起動の試行を遅らせることができる回数	なし 1 2 3 4 6 8 12 無制限	なし	ユーザーが再起動の試行を遅らせることができる回数を設定します。
再起動の試行を遅らせる時間	1分 5分 10分 15分 30分 1時間 2時間 3時間 4時間 6時間 8時間 12時間	1分	再起動の試行を遅らせる時間を設定します。

通話品質設定アプリ

通話品質の設定は、電話機に自動的に設定されます。ただし、サポート担当者から Wi-Fi 帯域やチャンネルなどの設定を調整するように指示された場合は、**通話品質設定アプリ**で調整できます。

デフォルトでは、すべての Wi-Fi 帯域オプションと帯域チャンネルが有効になっています。少なくとも1つの帯域とチャンネルを有効にしてください。有効にしないと、電話機の接続が失われ、機能しません。



注意 変更を加える前に、目的の場所で使用されている帯域とチャンネルを確認してください。間違った帯域またはチャンネルを選択すると、電話機がネットワークから完全に切断されます。不適切な帯域の選択により電話機が無効になる場合は、Cisco TAC にお問い合わせください。最後に、電話機を工場出荷時のデフォルトに手動でリセットする必要がある場合があります。

関連トピック

[電話機のシスコアプリ設定にアクセスする](#) (4 ページ)

Wi-Fi 情報


通話品質設定アプリ  には、電話機への Wi-Fi アクセスポイント接続に関する情報が表示されます。この Wi-Fi 情報は、通話品質の問題のトラブルシュー트에役立つ場合があります。

表 69: Wi-Fi 情報

フィールド	説明
SSID	サービスセット識別子 (SSID) は、ワイヤレスネットワークを識別する一意の名前です。
AP 名	アクセスポイント (AP) 名には、AP の名前が表示されます。
BSSID	Basic Service Set Identifier (BSSID) は、radio MAC + SSID の MAC です。
チャンネル	チャンネルには、AP 無線チャンネルが表示されます。
RSSI	Received Signal Strength Indicator (RSSI) は、電話機とアクセスポイントを接続する信号強度です。
Noise	ノイズは、環境内の背景雑音のレベルを示します。
CU	チャンネル使用率 (CU) は、チャンネルの使用状況を示します。

通話品質設定

必要に応じて、次の通話品質設定を構成できます。

Wi-Fi low RSSI しきい値

Cisco TAC から指示された場合は、次の設定を使用して、Wi-Fi low Received Signal Strength Indicator (RSSI) のしきい値を変更します。

表 70: Wi-Fi low RSSI しきい値

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
Wi-Fi Low RSSI しきい値	整数 -55 ~ -100	-67	<p>Wi-Fi 信号が弱すぎると、音声品質が低下する可能性があります。RSSI は、ユーザーが接続された AP に近づいたり離れたりすると変化します。RSSI しきい値の設定は、電話機がより適切な AP を探すときの RSSI レベルです。電話機は、AP の現在の負荷、AP で使用可能な帯域幅、チャンネルなど、AP が適切な候補であるかどうかを判断するために、AP の多くの属性を使用します。最適な AP の RSSI 値が他の候補よりも低い場合があります。</p> <p>注意 RSSI しきい値を変更する前に、Cisco TAC にお問い合わせください。</p>

チャンネルの選択

次の設定を使用して、Wi-Fi バンドを選択します。

表 71: Wi-Fi バンド選択オプション

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
自動 (Auto)	有効 無効	有効	<p>イネーブルの場合は、次のようになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電話機は、使用可能なバンドまたはチャンネルを使用します。 • 特定のバンドやチャンネルを選択することはできません。 • 電話機は個々のチャンネル有線設定を無視しますが、忘れません。 <p>無効にすると、有効にするバンドを選択したり、各バンド内の特定のチャンネルを選択したりできます。</p> <p>両方の Wi-Fi バンドを同時に無効にすることはできません。</p>
2.4 GHz Wi-Fi バンド	有効 無効	有効	<p>有効な場合:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電話機は、2.4 GHz バンドで使用可能なチャンネルを使用します。 • 2.4 GHz バンド内の特定のチャンネルを有効または無効にすることができます。
5 GHz Wi-Fi バンド	有効 無効	有効	<p>有効な場合:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電話機は、5 GHz バンドで使用可能なチャンネルを使用します。 • 5 GHz サブバンド内の特定のチャンネルを有効または無効にすることができます。各サブバンドには、チャンネルのグループが含まれています。

次の設定を使用して、2.4 GHz チャンネルを選択します。

表 72: 2.4 GHz チャンネル選択

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
チャンネル 1 (2412 MHz)	オン オフ	オン	チャンネルを有効にします。
チャンネル 2 (2417 MHz)	オン オフ	オン	チャンネルを有効にします。
チャンネル 3 (2422 MHz)	オン オフ	オン	チャンネルを有効にします。
チャンネル 4 (2427 MHz)	オン オフ	オン	チャンネルを有効にします。
チャンネル 5 (2432 MHz)	オン オフ	オン	チャンネルを有効にします。
チャンネル 6 (2437 MHz)	オン オフ	オン	チャンネルを有効にします。
チャンネル 7 (2442 MHz)	オン オフ	オン	チャンネルを有効にします。
チャンネル 8 (2447 MHz)	オン オフ	オン	チャンネルを有効にします。
チャンネル 9 (2452 MHz)	オン オフ	オン	チャンネルを有効にします。
チャンネル 10 (2457 MHz)	オン オフ	オン	チャンネルを有効にします。
チャンネル 11 (2462 MHz)	オン オフ	オン	チャンネルを有効にします。
チャンネル 12 (2467 MHz)	オン オフ	オン	チャンネルを有効にします。
チャンネル 13 (2472 MHz)	オン オフ	オン	チャンネルを有効にします。

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
チャンネル 14 (2484 MHz)	オン オフ	オン	チャンネルを有効にします。

次の設定を使用して、5.0 GHz チャンネルを選択します。

表 73: 5.0 GHz チャンネル選択

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
チャンネル 36 (5180 MHz)	オン オフ	オン	チャンネルを有効にします。
チャンネル 40 (5200 MHz)	オン オフ	オン	チャンネルを有効にします。
チャンネル 44 (5220 MHz)	オン オフ	オン	チャンネルを有効にします。
チャンネル 48 (5140 MHz)	オン オフ	オン	チャンネルを有効にします。
チャンネル 52 DFS (5260 MHz)	オン オフ	オン	チャンネルを有効にします。
チャンネル 56 DFS (5280 MHz)	オン オフ	オン	チャンネルを有効にします。
チャンネル 60 DFS (5300 MHz)	オン オフ	オン	チャンネルを有効にします。
チャンネル 64 DFS (5320 MHz)	オン オフ	オン	チャンネルを有効にします。
チャンネル 100 DFS (5500 MHz)	オン オフ	オン	チャンネルを有効にします。

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
チャンネル 104 DFS (5520 MHz)	オン オフ	オン	チャンネルを有効にします。
チャンネル 108 DFS (5540 MHz)	オン オフ	オン	チャンネルを有効にします。
チャンネル 112 DFS (5560 MHz)	オン オフ	オン	チャンネルを有効にします。
チャンネル 116 DFS (5580 MHz)	オン オフ	オン	チャンネルを有効にします。
チャンネル 120 DFS (5600 MHz)	オン オフ	オン	チャンネルを有効にします。
チャンネル 124 DFS (5620 MHz)	オン オフ	オン	チャンネルを有効にします。
チャンネル 128 DFS (5640 MHz)	オン オフ	オン	チャンネルを有効にします。
チャンネル 132 DFS (5660 MHz)	オン オフ	オン	チャンネルを有効にします。
チャンネル 136 DFS (5680 MHz)	オン オフ	オン	チャンネルを有効にします。
チャンネル 140 DFS (5700 MHz)	オン オフ	オン	チャンネルを有効にします。
チャンネル 144 DFS (5720 MHz)	オン オフ	オン	チャンネルを有効にします。

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
チャンネル 149 (5745 MHz)	オン オフ	オン	チャンネルを有効にします。
チャンネル 153 (5765 MHz)	オン オフ	オン	チャンネルを有効にします。
チャンネル 157 (5785 MHz)	オン オフ	オン	チャンネルを有効にします。
チャンネル 161 (5805 MHz)	オン オフ	オン	チャンネルを有効にします。
チャンネル 165 (5825 MHz)	オン オフ	オン	チャンネルを有効にします。

Wi-Fi 有線設定

次の設定を使用して、Wi-Fi 有線設定を選択します。

表 74: Wi-Fi 有線設定

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
FT	優先 優先	優先	Fast Transition (FT)
CCKM	優先 優先	優先	Cisco Centralized Key Management (CCKM)
CAC	ON 消灯	消灯	コールアドミッション制御 (CAC)

診断アプリ

診断アプリケーションを使用すると管理者は、迅速かつ効率的に診断テストを実行し、電話機のハードウェアコンポーネントを検証できます。

管理者は次のことができます。

- 次の機能について個別のテストを実行：

- 音声
 - バッテリ
 - ボタン
 - カメラ
 - ディスプレイ
 - NFC
 - センサー
 - タッチスクリーン
 - 振動
 - Wi-Fi
- テスト結果の表示
 - テスト結果のリセット
 - QR コードの生成
 - ソフトウェアバージョン、Androidバージョン、デバイスシリアル、Wi-Fi Mac アドレス、デバイスモデル、バッテリーシリアルなどの情報の表示。

Web API アプリ

デベロッパーは、**Web API**アプリを使用して、外部サービスとインターフェイスし、頻繁に使用される Web サイトにリンクを共有します。Web API を使用すると、電話機を構成して XML アプリケーションと統合できます。

次の表は Web API 設定について説明したものです。

表 75: Web API の設定

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
Web API を有効にする	オン 消灯	消灯	Web API を有効または無効にします。
Web アクセスの有効化	オン 消灯	消灯	Web アクセスを有効または無効にします。
データ形式	XML JSON	XML	データ形式を設定します。サポートされている形式は XML のみです。

関連トピック

[電話機のシスコアプリ設定にアクセスする](#) (4 ページ)

電話状態のポーリング

次の phone state polling パラメータを設定できます。

表 76: Polling パラメータ

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
ユーザー名	文字列		電話がポーリングを認証するために必要とするユーザー名を定義します。
パスワード	文字列		電話がポーリングを認証するために必要とするパスワードを定義します。
応答モード	要求者 URL	要求者	要求されたポーリングデータを送信する方法を定義します。 応答モード がリクエスト送信者の場合、応答は、要求が行われたアドレスで実行されている HTTP サーバーに自動的に送信されます。
URL	文字列		応答モード が URL として設定されている場合、このフィールドは応答を取得する有効な HTTP サーバーの URL を定義します。 URL を入力する必要があります。これは、リクエスト送信者とは異なるアドレスにすることができます。

プッシュ設定

プッシュ設定を構成するときは、電話機がプッシュリクエストを受信したときに、次の点に基づいて異なる反応をすることを考慮してください。

- 電話機が通話中で、優先度が高、重要、または標準のプッシュを受信した場合、電話機はプッシュを受け入れますが、何もしません。
- 電話機がサイレントモード (DND) のときに、次のプッシュリクエストを受信した場合：

- 完全にサイレントー電話機は音を立てず、視覚的な通知のみを表示します。プッシュリクエストの後、電話機は完全なサイレントモードのままになります。
- アラームのみおよび優先のみー電話機はモードと通常に変更し、視覚的の通知を表示し、通知音を再生します。プッシュリクエストの後、電話機は通常モードのままになります。

以下の設定を使用して、プッシュ設定を構成します。

表 77: プッシュ設定

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
ユーザー名	文字列		あらゆる種類のプッシュを行うための Web API のユーザー名を定義します。
パスワード	文字列		あらゆる種類のプッシュを行うための Web API のパスワードを定義します。
プッシュアラートの優先順位	すべて クリティカル 高値 重要 通常 なし	すべて	<p>アプリからのメッセージの優先度を設定します。選択した優先度のメッセージのみが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • すべてーすべての優先プッシュメッセージを許可します。 • クリティカルークリティカルなプッシュメッセージのみを許可します。 • 高ー高優先度のプッシュメッセージのみを許可します。 • 重要ー重要なプッシュメッセージのみを許可します。 • 通常ー通常のプッシュメッセージのみを許可します。 • なしーすべてのプッシュメッセージを破棄します。

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
サーバールート URL			<p>アプリケーションサーバーの URL を定義します。このルート URL は電話機のアドレスと組み合わせられ、電話機のブラウザに送信されます。</p> <p>たとえば、アプリケーションサーバーのルート URL が <code>http://172.24.128.85:8080/sampleapps</code> で、相対 URL が <code>/examples/sample.html</code> の場合、電話機の Web ブラウザに送信される URL は、<code>http://172.24.128.85:8080/sampleapps/examples/sample.html</code> です。</p> <p>URL には HTTP か HTTPS を使用できます。</p>
通知音を有効にする	オン 消灯	消灯	<p>電話機がプッシュメッセージを受信したときに通知音を再生するかどうかを定義します。</p> <p>再生される通知音を設定するには、[設定 (Settings)] > [サウンド (Sound)] > [デフォルトの通知音 (Default notification sound)] の順に選択します。</p>
Web API ボリューム	0 ~ 100	50	プッシュ着信音の音量を設定します。

プッシュリクエスト通知

通知ドロワーに表示される各プッシュリクエストアラートには、**[アラートの表示 (View Alert)]** オプションと三角形の感嘆符アイコンが含まれています。アイコンの色は、アラートの優先度によって異なります。

- クリティカル: 赤色
- 高: オレンジ
- 重要: 黄色
- 通常: グリーン

プッシュリクエストを複数受信した場合、通知ドロワー内の通知は優先度によってグループ化されます。グループは、重要が上、通常がしたの降順で表示され、受信した各優先度のアラートの数が表示されます。

電話機を再起動しても、重大なアラートは自動的にクリアされません。ピンで保護された電話を再起動した後、クリアされていない重要なプッシュリクエストがある場合は、**[重要なアラートを表示するには電話機のロックを解除してください (Unlock the phone to view critical alerts)]** というポップアップダイアログが表示されます。

Web アプリケーションのショートカット

Web API アプリを使用すると、電話機を構成して XML アプリケーションと統合できます。最大 12 個の Web アプリケーションショートカットを構成できます。必要な Web アプリケーションショートカットごとに、次のフィールドに入力します。

表 78: Web アプリケーションのショートカット設定

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
ショートカットの タイトル	文字列		Web アプリケーションのショートカットのタイトルを定義します。 電話機を再起動すると、タイトルが電話機のウィジェットボックスに表示されます。
ショートカット URL	文字列		アプリケーション URL を定義します。電話機で使用可能な任意の URL を入力できます。

Web アプリケーションのショートカットをランチャ画面に配置する

Web アプリケーションのショートカットに簡単にアクセスするには、ショートカットを電話機のランチャ画面に配置します。ランチャ画面にショートカットを配置すると、ショートカットをタップしてブラウザーで Web アプリケーションを開くことができます。

手順

-
- ステップ 1 ホーム画面を長押しします。
 - ステップ 2 **[ウィジェット (Widgets)]** をタップします。
 - ステップ 3 ショートカットをタッチして長押しします。
 - ステップ 4 ショートカットをランチャ画面の任意の場所にドラッグします。
-

デバイスのイベント通知

次の電話機イベントの通知を定義済みの URL に送信するように電話機を設定できます。

- すべてのイベント
- 電話機の状態の変更、着信通話または発信通話、または SIP 登録などのシスコ電話イベント。
- 緊急イベント



(注) 既存のイベント URL を編集するには、それを削除し、新しい URL 名またはアドレスを使用して情報を再入力します。

次の設定を使用して、イベント通知を構成します。

表 79: デバイスイベント通知設定

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
通知名	文字列		イベントの説明ラベルを定義します。
通知 URL	文字列		イベントの URL を定義します。
なし	オン オフ	オン	デフォルトでは、通知イベントはありません。
すべて	オン 消灯	消灯	有効にすると、すべての電話機イベントに関する通知を送信します。
シスコ電話イベント：発信	オン 消灯	消灯	有効にすると、すべての発信通話イベントに関する通知を送信します。
シスコ電話イベント：着信	オン 消灯	消灯	有効にすると、すべての着信通話イベントに関する通知を送信します。
シスコ電話イベント：状態の変更	オン 消灯	消灯	有効にすると、すべての電話機状態変更イベントに関する通知を送信します。
シスコ電話イベント：ログイン/ログアウト	オン 消灯	消灯	有効にすると、すべての電話機のログインおよびログアウトイベントに関する通知を送信します。

フィールド	フィールドタイプ または選択肢	デフォルト	説明
シスコ電話イベント：登録	オン 消灯	消灯	有効にすると、すべての電話機登録イベントに関する通知を送信します。
シスコ電話イベント：登録解除	オン 消灯	消灯	有効にすると、すべての電話機登録解除イベントに関する通知を送信します。
緊急イベント	オン 消灯	消灯	有効にすると、すべての緊急イベントに関する通知を送信します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。